

小里コウヤマキ希少個体群保護林	
管轄森林管理局・署	中部森林管理局・東濃森林管理署
所在地	岐阜県瑞浪市
面積	18.73ha
設定年	平成10年4月1日設定（平成30年4月1日変更）
保護林の概要 （設定目的）	岐阜県東部の東濃丘陵の一部である。地域的には周囲を山で囲まれているため、やや内陸性気候も帯びているが、太平洋側気候に属しており、比較的に温暖多湿である。降水量は梅雨の季節に多く、本州上に梅雨前線が停滞した末期は集中豪雨となりやすい。また冬季の積雪量は少ない。保護林内の地質は花崗岩質岩石であり、土壌は砂土が露出する場所が多い。保護林上部はモチツツジ・アカマツ群集が成立し、下部はコナラ群落が成立している。コウヤマキの育成する標高が低く、分布限界に位置する。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和2年度
調査項目	森林詳細調査（樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査）、その他の調査等（資料調査・聞き取り調査）
調査手法	森林詳細調査としてコウヤマキの生育地において調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。
結果概要	保護対象種であるコウヤマキの成木に大きな変化は認められず、後継樹となりうる稚樹や小径木も確認されていることから、保護林の健全性は維持されていると考えられる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。